2021年４月開始
第６期生

看護師特定行為研修
募　集　要　項

公立大学法人和歌山県立医科大学
【指定研修機関番号：1730001】

〒641-8510
和歌山市紀三井寺811-1
TEL 073-447-2300(内線3276)
FAX 073-441-0769

1. 研修概要

和歌山県立医科大学は、地域の医療ニーズに対応し、以下の理念、目的、目標の元に特定行為研修を行う。

○　**特定行為研修における教育理念**

特定行為研修の教育理念は、医療に関する地域の多様なニーズに柔軟に対応し、地域医療の質の向上の貢献に寄与することにある。高邁な倫理観を持ち、かつ高度な看護実践能力を持つ看護師を育成する。

○　**特定行為研修の目的**

地域医療及び高度医療現場において、チーム医療の要となり安全で質の高い特定行為を提供する看護師を育成する。

○　**特定行為研修の教育目標**

特定行為を施行する際に基礎となる知識として、臨床推論する能力、倫理的な判断力、多職種と協働して問題解決する能力を習得するとともに、特定行為を安全に実践するための能力を養う。

（1）　研修を実施する特定行為

（ア）区分別

①呼吸器（気道確保に係るもの）関連
②呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
③栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
④栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連
⑤栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
⑥血糖コントロールに係る薬剤投与関連
⑦創傷管理関連

（イ）パッケージ

①在宅・慢性期領域パッケージ

特定行為区分	特定行為
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正

※パッケージ研修に、以下の特定行為は含まない
◆　膀胱ろうカテーテルの交換（区分：ろう孔管理関連）

※以下の特定行為の履修については、受講を選択できる
◆　創傷に対する陰圧閉鎖療法（区分：創傷管理関連）
◆　持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整（区分：栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）
➔　パッケージ研修の受講例については、次ページの表を参照

【表：パッケージの受講例】ピンク色のセルは必須の区分・行為を示す

区分 / パターン	呼吸器関連	ろう孔管理関連	創傷管理関連		栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	
基本（必須のみ）	気管カニューレの交換	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	受講しない	脱水症状に対する輸液による補正	受講しない
A	気管カニューレの交換	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	創傷に対する陰圧閉鎖療法 ※選択	脱水症状に対する輸液による補正	受講しない
B	気管カニューレの交換	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	受講しない	脱水症状に対する輸液による補正	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ※選択
C	気管カニューレの交換	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	創傷に対する陰圧閉鎖療法 ※選択	脱水症状に対する輸液による補正	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ※選択

（２） 定員　※区分によって定員数が違います。ご注意ください。

区分	定員数
①呼吸器（気道確保に係るもの）関連	５名
②呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	５名
③栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	５名
④栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	５名
⑤栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	１０名
⑥血糖コントロールに係る薬剤投与関連	５名
⑦創傷管理関連	２名
領域別パッケージ	**定員数**
在宅・慢性期領域	５名

（３） 研修期間（別添進度表をご参照ください）

１年６ヶ月（2021年４月～2022年９月）

※ **個別の事情により研修期間を延長したい場合**は、特定行為研修管理委員会が認める場合に限り、最長２年半まで延長することができる。

※ **本学または他指定研修機関で共通科目履修済みの者は、希望する区分別研修を2021年4月～9月（予定）の６か月で履修することができる。**

（4） 教育内容

研修は、看護師が手順書により特定行為を行う場合に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能であって、全ての特定行為区分に共通するものの向上を図るための「共通科目」と、特定行為区分ごとに異なるものの向上を図るための「区分別科目」に分かれている。

各科目は講義、演習または実習によって行い、共通科目は放送大学における共通科目の講義および演習の単位を修得するとともに、指定された科目については本学で行う実習の単位を修得する必要がある。共通科目を修得した後、区分別科目を履修する。区分別科目は全て本学で行い、研修方法は講義・演習・実習となる。実習は各区分の行為ごとに協力施設または本学附属病院等で５事例の経験が必要である。詳細については下記を確認のこと。

特定行為研修制度と教育内容について…厚生労働省ホームページ
本学の研修スケジュール詳細…進度表（p. 10-11）

※履修科目の一部免除について

大学院等で既に履修した科目(本学の研修で履修する、放送大学修士課程の科目単位も含む)については、履修の状況に応じて時間数を免除する。

他指定研修機関で特定行為研修を修了している者については、共通科目の受講を免除する。

修了している区分によっては領域別パッケージの一部の受講を免除する。

○ 共通科目（12ヶ月程度、講義・演習・実習

※講義・演習は放送大学で履修、実習は本学で履修）

科目名称	時間数（目安）
臨床病態生理学	30時間
臨床推論	45.1時間
フィジカルアセスメント	49.7時間
臨床薬理学	45.0時間
疾病・臨床病態概論	40時間
医療安全学 特定行為実践	52.8時間
合計	262.6時間

○　区分別科目（6ヶ月程度、講義・演習　※すべて本学で履修）

コース NO	科目名称	特定行為名	時間数（目安）
①	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調節	9時間
②	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	・気管カニューレの交換	8時間
③	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	・中心静脈カテーテルの抜去	7時間
④	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	・末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	8時間
⑤	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・脱水症状に対する輸液による補正	16時間
⑥	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	16時間
⑦	創傷管理関連	・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・創傷に対する陰圧閉鎖療法	34時間

○　パッケージ（区分のうち、履修する行為分の履修時間となる）

特定行為名	時間
気管カニューレの交換	8時間
胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	16時間
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	26時間
脱水症状に対する輸液による補正	11時間
合計	61時間

上記の時間に加え、実習ですべての**特定行為ごとに臨床実践を５例以上実施**することが必要です。

（５）研修修了要件

特定行為研修管理委員会における最終の修了判定をもって研修修了となる。

○　共通科目　：放送大学が行う成績評価と単位認定は、講義中の小テスト（50%）および最終テスト（50%）の評価により行う。通信指導、単位認定試験および再試験は行わない。テストはオンラインで行い、指定された期間内に受験し、基準Ｃ（60～69 点）以上の成績を収めなければ単位は認められない。（詳しくは放送大学の利用者マニュアルを参照）

○　区分別科目：本学で施行し、筆記試験は 60 点以上、実習は観察評価が 60 点以上かつ実技試験実習（OSCE）が各行為ごとに定められた合格点以上取得できていることが必要である。
また、講義・演習の修了後に各協力施設で区分に含まれる行為につき各５症例以上の実症例を経験し、指導医から評価を受けることが修了の要件となる。

○　不合格の場合の対応

共通科目のうち放送大学において受講する科目は、期間中であれば再度履修し試験を受けることが出来る。しかし、受講期間を超えた場合は再度放送大学に科目申請し、受講料を納付のうえ、履修することが必要である。履修可能期間は、放送大学の規定に準じる。

本学で行う共通科目の実習および区分別科目については、再試験は1回のみ行う。

２.応募要項

（１）　受講要件

受講申請にあたっては、次に定める要件を全て満たしていることとする。

１）　日本国内における看護師免許を有していること

２）　受講申請時点において、看護師免許取得後通算５年以上の実務経験を有していることが望ましい

３）　所属施設の施設長ならびに看護部門長からの推薦状を添付できること

※出願者本人が施設長の場合、出願前に看護キャリア開発センターまでご相談ください。

４）　放送大学の共通科目を受講しているか、今後受講予定であること

５）　本学が定める１年６か月の研修課程を、連続して受講できること

６）　区分：血糖コントロールに係る薬剤投与関連　については、以下の認定を受けていることを出願資格とする

・日本看護協会が認定する「糖尿病看護認定看護師」

・日本糖尿病療養指導士認定機構が認定する「日本糖尿病療養指導士」

（２）　受講申請書類

１）　受講申請書（様式１）

２）　履歴書　（様式２）

３）　志望理由書（様式３）

４）　受講推薦書　（様式４）※施設長ならびに看護部門長それぞれ1通ずつ

５）　放送大学受講に関する確認書（様式５）

６）　看護師免許証の写し（Ａ４サイズに縮小コピーしたもの）

７）　認定看護師認定証もしくは専門看護師認定証の写し（有資格者のみ）

８）　合否結果通知用封筒（長形３号、宛先を明記し、返信用切手４０４円〈簡易書留料金を含む〉を貼付のこと）

※１　履歴書等の書類に虚偽の記載を行った場合は、合格を取り消すことがある。

※２　提出された書類は返却しない。

※３　受講決定通知受け取り後に、放送大学の受講申し込みを各自で必ず行うこと。

※４　申請書類に不備があった場合は、審査の対象外となる場合がある。なお、手書き記入する際は、黒または青インクのボールペンで丁寧に記載すること。消せるボールペンや鉛筆を使用の場合は審査対象外となる。

（３）　書類提出方法

上記（２）の書類を、下記担当あてに「簡易書留」で郵送し、提出する。

所定様式（受講申請書・履歴書・志望理由書・受講推薦書・放送大学受講に関する確認書）は看護キャリア開発センターホームページよりダウンロードが可能である。

封筒の表に「特定行為研修受講申請書類在中」と朱書きで明記すること。

【宛先】
〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1
公立大学法人和歌山県立医科大学看護キャリア開発センター 特定行為研修担当 宛

【URL】http://www.wakayama-med.ac.jp/med/ncc/index.html
QR コード→

（４） 書類提出期間

２０２０年 １０月 １日(木)～１１月６日(金)（当日消印有効）

○ 受講にあたっては別途受講審査料が必要となります。「３．受講費用について（１）受講審査料」のとおり納付願います。
○ 受講審査料の納入期日は書類提出期間〆切日の１日前です。１１月６日(金)に本学で納入が確認できるよう、１１月５日(木)までに納入してください。

（５） 選考方法

書類審査および面接
○ 受講審査料の納入が確認できた方に、面接に関する通知を郵送する。
○ 面接は、１１月１６日（月）・１７日（火）に実施する予定である。
状況によってWeb面接になる可能性があるため、Web形式で面接が受けられる環境を整えておくこと。（パソコン・タブレット、ネットワーク環境、Webカメラ・マイクなど）

（６） 選考結果

２０２０年１２月末頃、合格者に通知書を郵送する。
※電話やＦＡＸでの合否問い合わせには応じない

（７） 受講手続き

合否通知の際に詳細を案内する。
なお、受講（実習）にあたっては賠償責任保険に加入が必要である。

（８） 放送大学の受講手続きについて

合格者は、必ず放送大学が規定している期日までに各自申し込みをする。
放送大学への受講申し込みは２期にわたり行うこと。
期日までに受講手続きができなかった場合は、受講取消となる。

【放送大学申込み科目一覧】**※申し込み方法については、放送大学のホームページ等を参照。**

	科目名	申込
1	統合臨床病態生理学・疾病概論（’19）	1学期（4月～）
2	臨床薬理学特論（’17）	
3	統合医療安全・特定行為実践特論（’19）	2学期（10月～）
4	臨床推論（’16）	
5	フィジカルアセスメント特論（‘16）	
6	特定行為共通科目統合演習（’17）	

３.受講にかかる費用について

- 受講審査料および研修受講料の振込先は同一である。
- 振込手数料は受講希望者の負担となる。

（１）受講審査料

１０，０００円（消費税および地方消費税含む）

【振込期間】

２０２０年 １０月１日(木)～１１月５日(木)まで

１１月６日(金)に確認がとれるように

※原則として入金後の返金はしない。

【振込先】

銀 行 名：紀陽銀行

支 店 名：紀三井寺支店

種　　別：普通

口座番号：０６２７２１９

名 義 人：公立大学法人和歌山県立医科大学　理事長　宮下　和久

振込依頼人は以下のとおり入力

トク）氏名（姓と名の間の空白は不要です）

【例】医大 花子さんの場合 → トク）イダイハナコ

（２）研修受講料

研修の受講料金は以下の通り。受講料の納付方法については、「（３）研修受講料の納付方法」を確認すること。

１）共通科目の受講料　**300,000 円　＋　放送大学の受講費用　➔３）を参照のこと**

２）希望する区分別科目の受講料（下記の受講料参照）

コース No	科目名称	受講料
①	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	77,000円
②	呼吸器(長期呼吸療養法に係るもの)関連	55,000円
③	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	44,000円
④	栄養に係るカテーテル管理 （末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	49,000円
⑤	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	80,000円
⑥	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	80,000円
⑦	創傷管理関連	91,000円
領域	在宅・慢性期領域パッケージ	203,000円

※受講料には消費税及び地方消費税を含む
※振込期間等の詳細は、合格通知に同封のうえ連絡する
※上記費用の他に、テキスト費用等が発生することがある

３）放送大学における共通科目については別途入学金および受講料の振込みが必要である。放送大学の規定に従い、納入すること。
※詳細は以下の放送大学のホームページを確認のこと。

放送大学ＵＲＬ　http://www.ouj.ac.jp　　放送大学QRコード

４）**原則として入金後の返金はしない。**

（３）研修受講料の納付方法

研修受講料については**３期に分けて納付**する。納付時期は下記のとおり。
納付については本学から請求書を送付するので、以下に記す**納付時期と金額、そして振込先と振込依頼人の入力方法をよく読み、指定の振込先に納付する。**

納付時期		金額
第１期	2021年４月１日(木)～４月９日(金)	１５０，０００円
第２期	2021年10月１日(金)～10月８日(金)	１５０，０００円
第３期	2022年４月１日(金)～４月８日(金)	受講する特定行為区分の受講料

○問い合わせ先

〒６４１－８５１０
和歌山市紀三井寺811-1
公立大学法人和歌山県立医科大学看護キャリア開発センター 特定行為研修担当 宛
TEL：０７３-４４１-０７６８（直通）
FAX：０７３-４４１-０７６９
メールアドレス：kango-c@wakayama-med.ac.jp

研修施設へのアクセス

アクセス情報

大阪（天王寺）から和歌山駅まで JR 阪和線（快速）で約 1 時間

ＪＲ和歌山駅からのアクセス

電車

ＪＲ紀三井寺駅西口（紀勢本線）より徒歩約 10 分

バス

ＪＲ和歌山駅より和歌山バスで約 30 分

１番乗り場：医大病院行き

２番乗り場：医大病院又は海南藤白浜行き、海南日限下行き、マリーナシティ行き

→医大病院又は医大病院前停留所下車、徒歩約 3 分

タクシー

ＪＲ和歌山駅よりタクシーで約 20 分

南海和歌山市駅からのアクセス

バス

南海和歌山市駅（南海本線）より和歌山バスで約 30 分

５番乗り場：屋形町・塩屋経由ぶらくり丁・新手平経由医大病院行き

６番乗り場：貝柄町・北出島経由医大病院行き

９番乗り場：城北橋経由医大病院又はマリーナシティ行き

10 番乗り場：本町経由海南藤白浜行き、又は海南日限下行き

→医大病院又は医大病院前停留所下車、徒歩約 3 分

タクシー

南海和歌山市駅よりタクシーで約 30 分

研修施設案内図

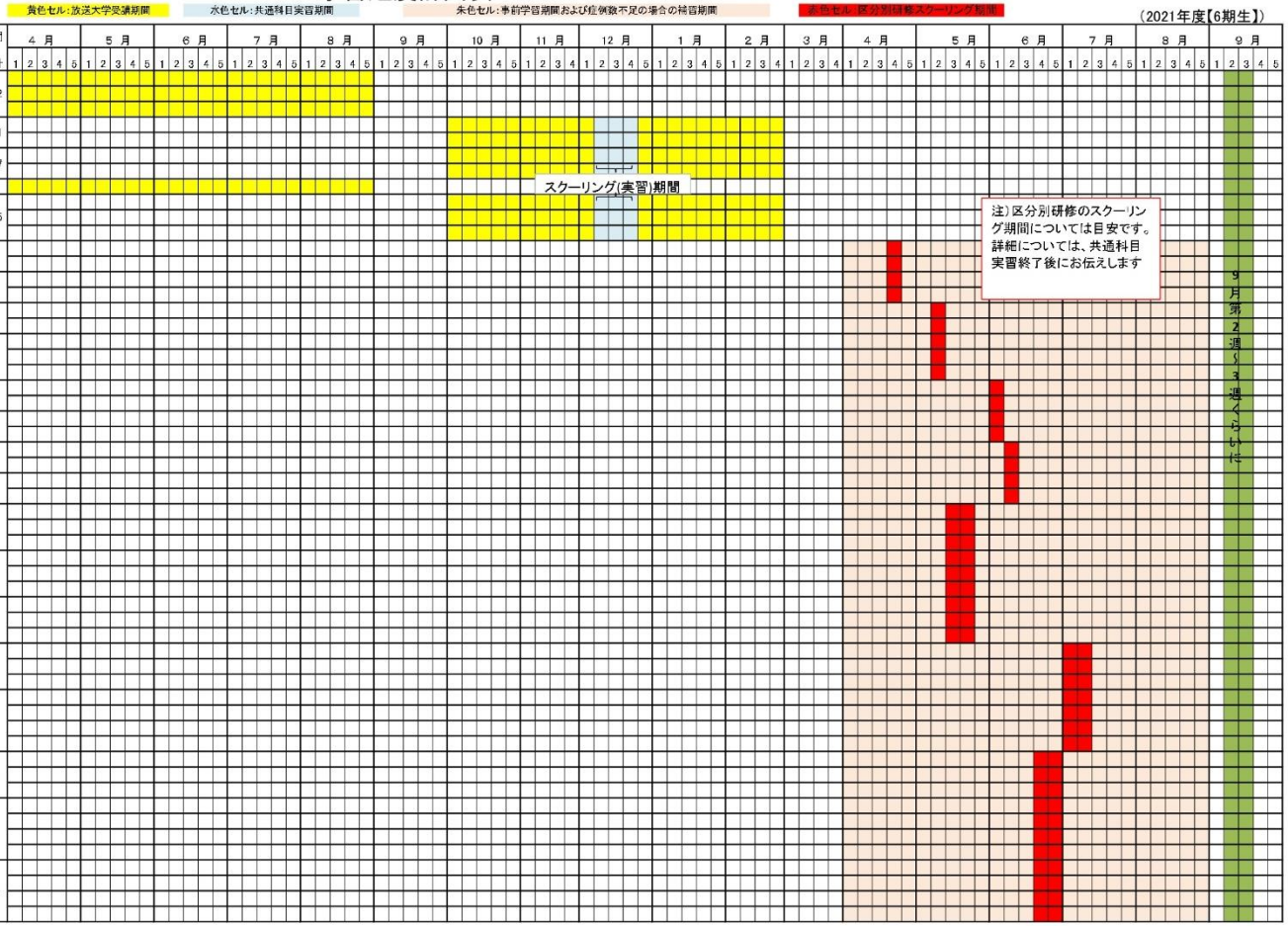
【和歌山県立医科大学】

学習進度計画表

黄色セル：放送大学受講期間　水色セル：共通科目実習期間　朱色セル：事前学習期間および症例数不足の場合の補習期間　赤色セル：区分別研修スクーリング期間

（2021年度【6期生】）

	科目名		独自の科目名（共通科目は放送大学の科目名）	時間数合計
共通科目	臨床病態生理学		臨床病態生理学・疾病概論('19)	71.2
	疾病・臨床病態概論（主要疾病）			
	疾病・臨床病態概論（年齢・状況）			
	臨床推論		臨床推論('16)	45.1
			特定行為共通科目統合演習('17)	
	フィジカルアセスメント		フィジカルアセスメント特論('16)	49.7
			特定行為共通科目統合演習('17)	
	臨床薬理学		臨床薬理学特論('17)	45
	医療安全・特定行為実践		統合医療安全学・特定行為実践特論('19)	57.5
			特定行為共通科目統合演習('17)	
区分別科目	呼吸器（気道確保）関連	共通事項	講義	4
			実習（観察評価含む）・筆記試験	
		チューブの位置調整	講義	5
			実習・実技試験（OSCE）	
	呼吸器（長期呼吸療法）関連	共通事項	講義	4
			実習（観察評価含む）・筆記試験	
		気管カニューレ交換	講義	4
			実習	
			筆記試験・実技試験（OSCE）	
	栄養カテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）管理	共通事項	講義	3
			実習（観察評価含む）・筆記試験	
		中心静脈カテーテル抜去	講義	4
			実習・実技試験（OSCE）	
	栄養カテーテル管理（末梢留置型中心静脈カテーテル管理）管理	共通事項	講義	3
			実習（観察評価含む）・筆記試験	
		末梢静脈カテーテル挿入	講義	5
			実習・実技試験（OSCE）	
	栄養・水分管理に係る薬剤投与関連	共通事項	講義	6
			演習	
			筆記試験	
		高カロリー輸液投与量の調整	講義	5
			演習・実習	
			実技試験（OSCE）	
		脱水症状に対する輸液補正	講義	5
			演習	
			実技試験（OSCE）	
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	共通事項	講義	6
			演習	
			筆記試験	
		インスリン投与量の調整	講義	10
			演習	
			筆記試験	
			実習・実技試験（OSCE）	
	創傷管理関連	共通事項	講義	12
			演習	
			筆記試験	
		褥瘡又は慢性創傷の治癒における血流のない壊死組織の除去	講義	16
			演習	
			筆記試験	
			実習・実技試験（OSCE）	
		創傷に対する陰圧閉鎖療法	講義	8.5
			演習	
			筆記試験	
			実習・実技試験（OSCE）	



【進度表】

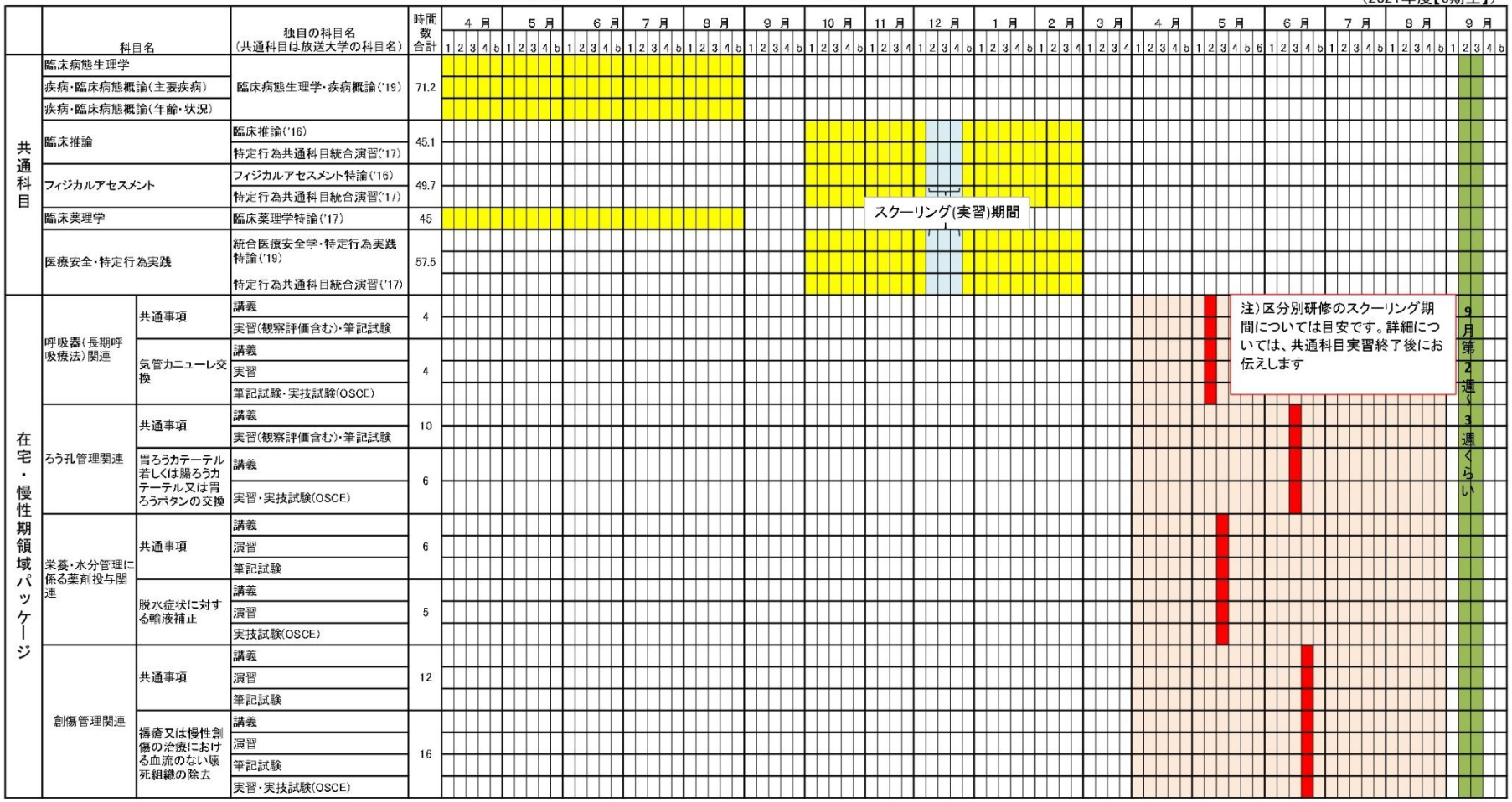
【和歌山県立医科大学】

学習進度計画表【在宅・慢性期領域パッケージ】

黄色セル：放送大学受講期間　水色セル：共通科目実習期間　朱色セル：事前学習期間および症例数不足の場合の補習期間　赤色セル：区分別研修スクーリング期間

（2021年度【6期生】）

	科目名		独自の科目名（共通科目は放送大学の科目名）	時間数合計
共通科目	臨床病態生理学		臨床病態生理学・疾病概論('19)	71.2
	疾病・臨床病態概論(主要疾病)			
	疾病・臨床病態概論(年齢・状況)			
	臨床推論		臨床推論('16)	45.1
			特定行為共通科目統合演習('17)	
	フィジカルアセスメント		フィジカルアセスメント特論('16)	49.7
			特定行為共通科目統合演習('17)	
	臨床薬理学		臨床薬理学特論('17)	45
	医療安全・特定行為実践		統合医療安全学・特定行為実践特論('19)	57.5
			特定行為共通科目統合演習('17)	
在宅・慢性期領域パッケージ	呼吸器(長期呼吸療法)関連	共通事項	講義	4
			実習(観察評価含む)・筆記試験	
		気管カニューレ交換	講義	4
			実習	
			筆記試験・実技試験(OSCE)	
	ろう孔管理関連	共通事項	講義	10
			実習(観察評価含む)・筆記試験	
		胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	講義	6
			実習・実技試験(OSCE)	
	栄養・水分管理に係る薬剤投与関連	共通事項	講義	6
			演習	
			筆記試験	
		脱水症状に対する輸液補正	講義	5
			演習	
			実技試験(OSCE)	
	創傷管理関連	共通事項	講義	12
			演習	
			筆記試験	
		褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	講義	16
			演習	
			筆記試験	
			実習・実技試験(OSCE)	



【領域パッケージ進度表】